



南の風はあったかい ぴと 私たちのまちで見つけたあったかい活動やキラリ人ををご紹介します。

わたしのまちの
ぴと
キラリ人

子どもの居場所 SUN SUN
加藤 桃子さん
荒木田 奈保美さん



SUN SUN を立ち上げた
きっかけを教えてください。

（荒木田）団地内で困っている子どもを地域で見守る必要があると感じ、子どもたちが集まれる居場所を作りたいと思っていました。そんな時に「ほっとサライ」で開催してもいいよというお話をいただき、様々な方のお力を借りて、「SUN SUN」を立ち上げました。

今では、毎月7～8名の子どもたちが遊びに来てくれて、地域の人達と子どもたちの顔つなぎの場となっています。



活動を通じて、うれしかったことは何ですか？

（荒木田）このあいだも、SUNSUN に遊びに来ていた子がすれ違ったときに声をかけてくれました。何年も通ってくれるようになると、子どもたちの成長を見ることができて、うれしいですね。

（加藤）SUNSUN で出会った子どもたちが楽しそうにワイワイしている様子を見て、ここが自分の居場所だと思ってくれることがうれしいです。



これから地域活動を始めたい方にエールをお願いします。

（荒木田）地域で活動を始めると、それまで知らなかった自治会町内会などの活動を知ることができます。また、活動を通じて、周りの方から様々なことを教えてもらい、いろいろな気づきを得て、自分自身の成長にもつながると思います。

（加藤）活動を始めるとは、気負わずに気楽にやってほしいです。自分が楽しいなと感じながらやるのが重要だと思います。困ったときは、無理をせず、周りを頼ってくださいね。

サンサン 子どもの居場所 SUN SUN（永田みなみ台地区）

地域住民の憩いの場になっているサロン「ほっとサライ」を会場に、毎月第1日曜日（変更の場合あり）に開催している子どものためのスペースです。10時から13時まで、子どもたちは自由に入出入りして、おしゃべり、工作やゲーム、モルックなどをして過ごしています。また、地域の大人たちから、宿題を教えてもらいながら、交流もしています。



南区環境事業推進委員連絡協議会
別所地区代表
猪股 誠三さん

わたしのまちの
ぴと
キラリ人



地域活動を始めたきっかけを教えてください。

仕事を退職してから、土地を借りて菜園を始めました。その際に、菜園の近くの自治会長と知り合い、役員にならないか声をかけられたのがきっかけです。自治会町内会の各委員を決める中で、環境事業推進委員のなり手が見つからなかったようで、白羽の矢が当たりました（笑）。そこから、10年くらい続けています。



活動を始めてから変わったことはありますか？

散歩をしていても、ごみ集積場所があると管理状態に目が行ってしまうことがよくあります。また、近くにマンションが建つという話を聞くと、ごみ集積場所がしっかり設置されるか心配になります。環境事業推進委員を務めていなければ、自分事とはとらず、気にしなかったことだと思います。



これから地域活動を始めたい方にエールをお願いします。

地域活動は難しい活動ではありません。私も自分ができる、当たり前のことしかやっていないですね。何か活動してみたいと思ったら、行動してみてください。手を挙げれば、活動できる機会は、地域に多くありますよ。

南区環境事業推進委員連絡協議会（別所地区）

別所地区連合町内会に所属する8つの自治会から選ばれた10人の委員で構成されています。定例会が年に1、2回あり、そこで年間の行事予定の確認などを行います。普段は、各自が所属する自治会町内会内で地域のごみ拾いなどを行っていますが、年に2回、「つながり清掃月間」として、委員が集まり、子ども会とも協力して、別所小最戸公園の草刈りを行っています。盆踊り大会、ふれあい祭りなどの地域行事や南区主催行事であるつながり清掃ウォークなどにも参加しています。





地域の力応援補助金



寺子屋みなみ



地域活動発表会



コーディネーター派遣

わたしのまちの
ひと
キラリ人南区青少年指導員協議会
北永田地区会長
吉川 昌代さん

地域活動を始めたきっかけを教えてください。

小学校のPTAから地域に関わるようになりました。PTA会長になり、活動を続ける中で、地域の方々とも顔見知りになり、また、子どもたちが地域で大変お世話になっていると感じるようになりました。そんな時に、当時の青少年指導員の地区会長に誘われて、青少年指導員を始めました。



活動を通じて、何か良かったことはありますか？

北永田地区では「ふるさとふれあいまつり」を二年に一度行っていますが、青少年指導員がその運営の中心となって催行されています。

この祭りでは模擬店や子どもたちの演舞のほか、江戸時代に行われていた参勤交代の後尾に続く「助郷行列」を再現して披露しています。このような伝統を残すのは大変ですが、北永田連合、永田小学校、永田中学校、様々な方々のご協力があり今に至ります。コロナ明けの昨年、フルバージョンの行列を行った際、子どもたちから「北永田にはすごいお祭りがあるんだね」、地域の皆様からは「こんなににぎやかなお祭りはひさしぶりだ」と、声をかけていただき、一同とても誇らしくやりがいを感じました。



これから地域活動を始めたい方にエールをお願いします。

もし地域活動に関わることがありましたら、自分ではできないと思わないで、関わってみてください。地域にはいろいろな特技を持った尊敬できる方がたくさんいます。地域で活動すると、そのような方々と知り合う機会が増えますし、活動をするうえで、助けになっていただけたと思いますよ。

南区青少年指導員協議会（北永田地区）

現在、14名で構成されています。メンバー全員意欲的に活動しています。青少年の健全な育成のため、普段は各自所属する自治会で、地域のお祭りやイベントに携わるなどして、青少年を見守っています。また、月一回、地区の定例会があり、スケジュールの確認や情報交換などを和気あいあいと行っています。

そのほか、南区で実施されるふれあいキャンプ、ボイス・オブ・ユース（青少年の主張）、みなみ桜まつりにも積極的に参加・協力しています。

わたしのまちの
ひと
キラリ人本大岡地区スポーツ推進委員連絡協議会
会長
山根 直樹さん

地域活動に対する思いを教えてください。

もともと、子どもと遊ぶことや人に楽しんでもらうことが好きでした。また、自分の子どもたちが地域でお世話になったので、その恩返しの意味も込めて、地域活動をしています。今も続けているのは、地域活動が楽しかったからです。スポーツ推進委員になったのも地域に関わっていた縁によるものでした。



活動を始めてみて、どうですか？

横浜マラソンやトライアスロンの運営に関わることで、イベントがどのように成り立っているかを知ることができ、より地域活動に対する思い入れが強くなります。そして、長く続けていると、参加者に楽しんでもらうには何をすればよいかがわかってきますし、そのイベントの昔と今の違いを他の人に話してあげることもできます。

また、グランドゴルフ大会の地区代表を決める際にも、地区予選会を開催してみたり、参加者募集のポスターを工夫したりしています。そういったことを実施することで、大会が盛り上がれば、他の地区にもモデル例として、お勧めできるかなと思っています。



これから地域活動を始めたい方にエールをお願いします。

何か活動を1回やってみてほしいと思います。やってみて、気に入れば、そのまま続けてください。そして、楽しみながら活動をしてみてください。周りに楽しさが伝われば、一緒に活動してくれる仲間ができると思いますよ。

南区スポーツ推進委員連絡協議会（本大岡地区）

現在、14名で構成されています。地域のグランドゴルフやマラソン大会の運営等に携わり、地域スポーツの普及啓発を行っています。また、地域の行事にも積極的に関わっており、本大岡地区で行われる「農業体験」の運営等に携わっています。

農業体験は、主に小学校高学年を対象にして、茨城県に年2回出かけしています。参加者とその家族、運営側の約100名で、5月に田植え、9月に稲刈りに出かけしています。そこで収穫したお米を使って、11月の地域のお祭りでカレーライスを作ります。

